

美唄市男女共同参画推進協議会会報

デュオ
Duo

デュオとはイタリア語で「二重唱」「二重奏」を意味します。

発行：美唄市男女共同参画推進協議会事務局

「デートDV」をご存じですか

デートDVとは、婚姻関係のない男女間で起きるDV(身体・精神・性・経済的暴力)のことです。近年若いカップル間で増えており、5人に1人がデートDVの被害にあっているとされています。



◇具体的にどんなこと？◇

“誰と電話(メール)していたか教え合う”など、カップルによくある「2人だけのルール」ですが、度を超えると「相手を支配すること」になります。例えば、誰と電話やメールをしていたか干渉する・他の異性と話すと怒る・避妊に協力しない など、相手の行動を制限し、思いのままに操ろうとすることです。

しかし、大半は「相手の言葉・思いを受け止める＝愛情の証」などと思い込み、「別れる」という決断ができません。携帯電話の普及も、デートDVが増えている一因ではないか、と考えられています。



◇デートDVが招く将来への影響◇

女性の望まない妊娠の原因にもなるほか、結婚後も続くことが多く、児童虐待につながる可能性があります。また、デートDVカップルは結婚しても若年で離婚しやすく、母子(父子)家庭の増加につながりやすくなる、と言われています。



◇デートDVをしない・されないために◇

パートナーの気持ちを尊重することも大切ですが、まずは自分の気持ちはどうなのか考えること・大切にすること・伝えることです。もしできないなら(尊重してくれない相手なら)、その人は本当に自分を大切にしてくれる人なのか、よく考えてみましょう。束縛＝愛情ではありません。

すべての人が、個人の考え・あり方を認め合い、互いを尊重する「対等な関係」であることが大切です。

あなたの周りに、デートDVに悩む人はいませんか？また、大切なパートナーを、あなたの思い通りにしようとしていませんか？

してない？されてない？デートDVセルフチェック

- 電話(メール)の相手をしつこく尋ねる
- 交友関係を監視し、つきあう人を制限する
- 貸したお金を返さない
- 嫌がっているのに無理やり性交渉を迫る
- 避妊に協力しない

デートDVにお悩みの方、まずは下記相談窓口にご相談ください。

デートDV・DVに悩む方のための相談窓口

市や道では、交際相手や配偶者からの暴力等に悩む方からの相談をお受けしています。配偶者の方については「配偶者からの暴力の防止および被害者の保護に関する法律」により、専門の相談や必要に応じて一時保護(施設入所)、配偶者の接近禁止などの申立制度などが定められています。配偶者暴力に関する法律等についてのお問い合わせや、デートDVに関する悩みごとなど、下記までご相談ください。

●美唄市役所地域経営室 ☎ 0126-63-0113 (平日8時45分～17時15分)

●配偶者暴力相談支援センター(空知総合振興局内) ☎ 0126-25-5648 (平日9時～17時)

美唄市男女共同参画講演会を 開催しました

昨年 11 月 11 日、ホテルスエヒロで「美唄市男女共同参画講演会」を開催しました。

介護をテーマに“どこで暮らしますか？サポートが必要となった時”と題し、定員を上回る 65 名の方に参加いただきました。

多くの方にお越しいただき、あらためて「介護」が私たちにとって、とても身近な存在であることを認識しました。

さて、介護のあり方が多様化している現代。自分や家族も、やがて迎える老後や病気でサポート(介護)が必要となる時が訪れます。また、すでに介護とかかわっている方もたくさんいらっしゃいます。

今回の講演会は、皆さんが介護と向き合うために、まずは自分や家族・他人などの意思を尊重する大切さについて理解いただくこと、また、介護に対する今後の心がまえや考え方を振り返るきっかけとなっていたら、と開催したものです。



講師には、旭川大学・保健福祉学部准教授の、藤島薫(ふじしまかおる)さんをお招きしました。高齢者福祉・介護福祉がご専門であり、実際に訪問介護をされていた経験もある方です。

さて、皆さん自身やご家族の方が介護を迎える(受ける)にあたって、どのようなことが気にかかりますか？

▼今は元気でも将来どうなっているだろう

▼家族に負担をかけたくない

▼子どもの家族と同居してう

まくやっていけるのか不安だ

▼施設に入る費用はどのくら

いにかかるのだろう

▼自分 1 人になったら、施設に入るしかないと思っている



しかし、悩む前にまず「自分はこうしたい(こうしてほしい)」という、介護される人自身の考えを明確にすることが大切です。

誰と暮らす→子どもと同居？別居？
どこで暮らす→自宅で？施設で？
どうやって暮らす→1 人で？家族を頼りながら？公的サービス等を使って？

「住み慣れた地域で・長年住み慣れた家で・家族に囲まれて介護を受けることが一番の幸せだ」という、介護に対する固定概念をいったんなくして「自分らしい暮らしとは何か」を考えてみませんか。

それにはまず、自分のことを知りましょう。
そして周りのことを知りましょう。

(次ページへ)

★ワンポイントメモ★

(講演会資料より)

国や民間機関が近年に実施した各調査から、介護についての意識が女性と男性で大きく異なることや、介護を担う女性の割合がとても多いという現状が明らかになりました。

○誰に介護を頼みたいか(複数回答可)

→男性…妻(80%)・子(50%)、女性…子(63%)・ホームヘルパー(45%)

○どこで介護を受けたいか

→男性…なるべく自宅で介護を受けたい、女性…自宅が無理なら施設入所でよい

○同居家族を介護している人の割合→約 70%が女性(妻 28%・娘 23%・嫁 17%)

男性～自宅で家族に介護してほしい、女性～介護は子またはプロに任せたい と考える傾向

自分の体の状態・家族・住宅環境などを振り返り、次のことについて考えてみましょう。

▼自宅で暮らす

○どこまで自活できるか考え、家族などから協力や支援を受けられるか相談・検討しましょう



→住宅の改修、福祉用具の購入・貸与、デイサービス・ホームヘルパーの活用など、サービスを上手に利用しましょう

▼施設で暮らす

○介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、グループホームなど

→介護保険認定の有無などにより、利用できる施設・負担額などが異なります

○有料老人ホーム、高齢者専用住宅

- ①介護付き…介護サービスがあります
- ②住宅型…住まいのみ(介護サービスは、施設外の介護事業者と各自契約)
- ③健康型…介護が必要になったら退去

などの施設があります。

いずれも良いことばかりうたった広告だけ見て施設を決めず、契約内容を確認し、自分に必要なこと・不要なことをきちんと見極めましょう。



詳しくは、各施設や市の福祉担当へお問い合わせ下さい。

▼いろいろな「新しい暮らし方」があります

○グループリビング(グループハウス)

→高齢者同士が助け合う暮らし方(住宅)です。食堂やお風呂など一部が共用です。入居者自身の「自由」「自立」を重視します

○高齢者と若い人のハウスシェア

→持ち家率の高い高齢者宅の空いた部屋を、若い人に貸します。孤独感の解消や、異世代交流につながります

今までは「介護＝お世話になる」という風潮でしたが、現代は、さまざまな選択肢の中から自分に合ったものを選び、自分らしい暮らし方ができる時代です。

～講師からのメッセージ～

預かってもらう施設→利用する施設へ
してもらおうサービス→選ぶサービスへ
自分の幸せは家族の幸せ、
自分の幸せはみんなの幸せ

と思ひましよう

介護に関するだけでなく、すべてのことについて、個人の考え方・あり方を認め、お互いを尊重し合うことがとても大切です。私たちデュオの会では、そのような意識を皆さんに持っていただけるように、いろいろな活動を行っていきます。

最後に、講演会に参加した会員による感想をご紹介します。



ほとんどの方が、直面する日が来ると思いつながりながら先延ばしにして、現実のこととして考えずに暮らしていると思う。

その時点で頭にあるのは「可能な限り自分の家に居たい」ではないだろうか。しかし、誰にでも早晚サポートが必要になる日はやってくる。勿論「なるようにしかならぬから考えない」という考え方もあるだろうが、自分のこれからを見据えることは必要なことだと思ふ。

講演で語られたように、精神論だけではいけない。

様々な現実、自分の持っているハード面とソフト面を考え併せ、数ある種類の中から自分に可能な組み合わせを選んでおかなければならない。

この世知辛い現代・現実は厳しい。そんな中でも、最小限自分が幸せを感じられる場を探してゆきたい。

しかも自分で考えられるうちに・・・

(小山内由紀子)



「デュオの会」屋外活動

「Duoの会」の存在と活動内容を多くの方に知ってもらうため、8月6日に開催された「びばい歌舞裸2011」において、会報16号を来場者の方に配布し、PR活動を行いました。



活動風景



当日は、最高気温が30度を超えるとても暑い日でしたが、多くの方が会場を訪れ、美唄の夏祭りを楽しんでいました。

これからも「男女共同参画」について皆さんに知っていただき、また会の活動を推進していくため、さまざまな取り組みを行っていきます。

Duoの唄

このコーナーでは、主に会員から寄せられた、男女共同参画に関する様々な思いを寄せた唄を掲載しています。特に決まった形式ではなく、身近な生活の中で感じたことや疑問に思っていることなどを、川柳のような短い言葉で表現したものです。

会員以外の方からの唄も大歓迎ですので、自身で作った句を、ぜひ会報に載せてみませんか？

興味のある方はぜひ事務局まで。

節分
鬼役の
誰は
決め
ぱね
たぱ
と
ム
M
・
K

我が妻に
かい言に
わいつ
べいっ
ン気て
ネなしま
ーい
ムう
Y
子

編集後記

前回の編集後記で「らしさ」について書かれていました。自分に置き換えていろいろ考えてみると…小さな頃から、いわゆる「女の子らしい」スカートが苦手で、ズボンばかり好んでいた私。洋裁が大好きな母の「娘には、自分の作ったスカートをはかせたい！」という夢を見事叶えてあげられず、現在に至ります。

自分の思いを娘に強制せず、「私らしく」育ててくれた母に感謝！ (マーヤ)

「美唄市男女共同参画推進協議会（通称Duoの会）」会員募集中！

新規会員を募集しています。男女共同参画社会づくりに向けて学習し、家庭や職場・地域で身近に取り組める実践を目的としています。興味のある方は、ぜひご連絡ください。

◆問合せ・入会申込など◆

事務局（美唄市役所地域経営室内）

TEL 0126~63~0113ハ